

業務用ヒートポンプ給湯機 水熱源ヒートポンプ ご採用事例

湯泉の排湯を有効活用！ ランニングコスト、CO₂排出量を大幅に削減！



鈴鹿サーキット 様 (三重県鈴鹿市)

鈴鹿サーキット様は1962年に国内で初めて本格的なレーシングコースとして誕生いたしました。1987年から30回以上を数えるF1日本グランプリをはじめ、他にも数多くのビックイベントが開催されております。

他にもホテル・レストランの充実をはかり、滞在型リゾート施設として、充実した環境とサービスを提供し、新たなレジャー事業を意欲的に開発されております。

今回の給湯システムの改修で、温泉施設の排湯を有効活用できる三菱電機の水熱源ヒートポンプをご採用いただきました。また、既設ボイラーを利用したハイブリッド給湯システムを実現しています。

●ご採用機種 ●水熱源ヒートポンプ CRHV-P650A×2台 ●業務用エコキュート QAHV-N560D-HWP×2台

採用の経緯

1

F1レースなど、CO₂を多く排出する機会がある為、少しでも環境に配慮した設備にしたいという思いがあった。

2

施設内にある温泉の排湯(35℃前後)を捨て続けていたので有効活用できないか検討。

3

環境に配慮した電気式のヒートポンプ給湯機が有効と知り調査を始めた。

4

水熱源ヒートポンプが想定していた機器にマッチし採用を決意。



▲今回ご採用いただいた2台の水熱源ヒートポンプ(浴室給湯用)。温泉施設の排熱を有効活用し、ランニングコストを大幅削減。

四季折々の景色が楽しめる開放感のある露天風呂



◀広々とした大浴場

水熱源ヒートポンプ ご採用事例

レストランには業務用エコキュートをご採用



▲レストランの厨房に業務用エコキュートを採用



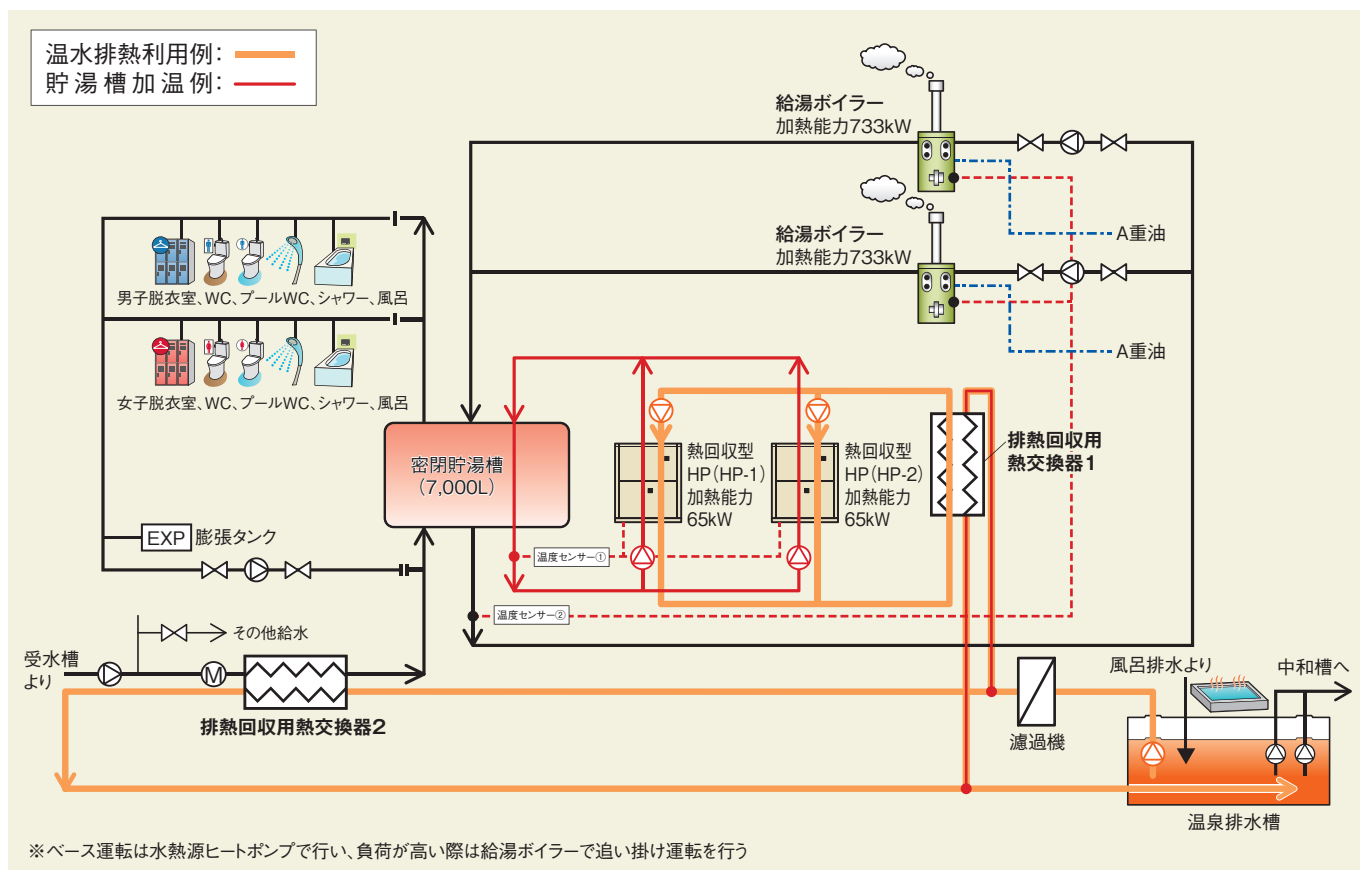
▲厨房給湯用密閉タンク7tの貯湯槽



▲多くのお客様が集うレストラン



モビリティランド様クアガーデンの浴室給湯用ボイラ系統図及び省エネ改修部分



※ベース運転は水熱源ヒートポンプで行い、負荷が高い際は給湯ボイラーで追い掛け運転を行う

お客様の声

株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット リゾート事業部 ホテル課 マネージャー **小倉 敬三 様**
アシスタントマネージャー **駒田 充孝 様**

機器の更新は7～8年前から相談しており、いろいろとご提案をいただいておりますが、課題である温泉の排熱をうまく活用できる機器がありませんでした。その後、三菱電機の水熱源ヒートポンプが発売されご提案をいただきました。これなら現場にマッチすると思い採用を決めました。

従来、A重油を活用したボイラーでお湯を供給しておりA重油の使用量全体の約80%を温泉施設・レストランが占めていました。今回のヒートポンプ給湯機導入により、A重油の使用量を従来の約半分程度まで削減でき、ランニングコストの削減につながります。またCO₂排出量も国から毎年2%の削減目標を提示されてクリアしてきておりますが、電気式に替えたことで今年は更なる削減効果が得られると期待しています。